

ライブ毎刊びゃっきープレス

2005

無料配布

↑あたりまえ

11 月 12 日号

ライブ当日発行

byacky press

発行 (謝)びゃっきーライブ連盟

http://www.satram.jp/byacky/

byacky@satram.jp

配布 びゃっきーご本人かライブハウスの人



役にたたない偏重サイト  
情報がグレードダウン!!

アクセス不要

http://www.satram.jp/

info@satram.jp

## テレビ埼玉&東京MX TV



予想を裏切り「合格」で驚きのびゃっきー。グランドピアノでしたライブをデモで持参、見栄えがしたのか？



ライトで顔が真っ白にとんでいるびゃっきー。スプーン一杯で驚きの白さはまるで能面のよう。別にテレビ出演決定に驚いているわけではない。

一通のメールがきっかけで、びゃっきーがライブ公開番組でテレビ出演することが決まった。テレビ埼玉の「お～でいえんすV」という番組と東京MX TVの「break音」という番組。わけもわからずに応募して面接までこぎつけ、わけもわからずに話をしていたら合格となった。就職活動並みに不可解な展開で合格を手にしたが、これ幸いと二つ返事で出演を快諾、了承した。実際のオンエアはテレビ埼玉が来年の5月20日で、東京MX TVが来年の10月ということで先の長い展開が予想される。本当に出演できるのか半信半疑である。

「公開ライブ番組出演者を募集」そんなメールがびゃっきーの元に飛び込んできた。何かの縁かもとびゃっきーはウェブページからエントリーすることに。「自分なら絶対に採用しない」という回答を繰り返すより他なかつたというびゃっきーだが、予想に反して数日後にレスポンスがあり、面接の約束を取りつけた。

電話を切った後に、音源を持っていないことに気付くが、面接は二日後。その夜、練習スタジオで録音をするが、録音レベルの設定ミスで、バリバリと音が割れ、聞かせられる。それでもいろいろと業界のことや番組制作のことなど説明をしてくれるので、滅多にない機会だと思ひ、説明を受けていると、最後に「ここまで話した人は合格です」と逆転勝訴。「へ？」と変な返事を返すのが精一杯のくせに、そこはサラリーマン、「ライブのノルマは？」といきなり金度の話を持っていき嫌な度胸。金額を聞いて即「キシシー！」と言いながらも、そこはサラリーマン、金銭的なゆとりを見せて即決、出演の運びとなった。

後日びゃっきーは合格の決め手をこう語った。「グランドピアノでやったライブだったから、見栄えがしたのかも。演奏も十割増に聞こえるし」

ついにメディアに進出するびゃっきー。今後どのような活躍を見せるか、非常に楽しみである。(長戦士)

メディアに進出

ほんのわずかなチャンス逃さず